講義名	方法	学年	学期	単位	担当教員
柔道整復学各論Ⅲ	講義	2	前期中期	2	持永　光信

授業概要	下肢軟部組織損傷の発生機序、症状、固定法、後療法など基礎に基づいて学ぶ。
到達目標	下肢軟部組織損傷の発生機序から後療法までの基礎を学び、現場で使える知識を習得する。
成績評価	期末試験(学科試験)で評価する。
実務経験	整骨院での臨床経験から現場での知識を交えて伝える。

前期	講義内容
1	股関節部の損傷(解剖と機能)、股関節の軟部組織損傷(鼠径部痛症候群、股関節唇損傷)
2	股関節の軟部組織損傷(弾発股、梨状筋症候群)
3	股関節の軟部組織損傷(その他)、注意すべき疾患(乳幼児期にみられる疾患)
4	注意すべき疾患(思春期にみられる疾患)
5	注意すべき疾患(大腿骨頭壊死症、変形性股関節症)
6	大腿部の損傷(解剖と機能)、大腿部の軟部組織損傷(大腿部打撲、大腿部の肉ばなれ)
7	注意すべき疾患(大腿部骨化性筋炎)
8	膝関節部の損傷(解剖と機能)、膝関節部の軟部組織損傷(半月板損傷)
9	膝関節部の軟部組織損傷(靭帯損傷)
10	膝関節部の軟部組織損傷(発育期の膝関節障害)
11	膝関節部の軟部組織損傷(腸脛靭帯炎、鵞足炎)
12	膝関節部の軟部組織損傷(膝蓋大腿関節障害、膝周囲の関節包・滑液包の異常)
13	膝関節部の軟部組織損傷(神経の障害)、注意すべき疾患(青壮年期にみられる疾患)
14	注意すべき疾患(中高年にみられる疾患)
15	期末試験
16	解説授業

使用教材	柔道整復学・理論編(南江堂)

中期	講義内容
1	下腿部の損傷(解剖と機能)、下腿部の軟部組織損傷(アキレス腱炎アキレス腱周囲炎)
2	下腿部の軟部組織損傷(アキレス腱断裂)
3	下腿部の軟部組織損傷(下腿三頭筋の肉ばなれ)
4	下腿部の軟部組織損傷(下腿部のスポーツ障害)
5	注意すべき疾患(コンパートメント症候群)
6	注意すべき疾患(下腿感染症、下腿骨腫瘍、下肢血管障害)
7	足関節部の損傷(解剖と機能)、足関節部の軟部組織損傷(足関節捻挫)
8	足関節部の軟部組織損傷(足関節捻挫)
9	足関節部の軟部組織損傷(足関節捻挫の類症鑑別)
10	足関節部の軟部組織損傷(足関節捻挫の類症鑑別、注意すべき疾患)
11	足・趾部の損傷(解剖と機能)、足根部の脱臼と軟部組織損傷(横足根関節損傷、足根中足関節損傷、扁平足障害)
12	足趾部の軟部組織損傷(中足部から後足部の有痛性疾患)
13	足趾部の軟部組織損傷(前足部の有痛性疾患)
14	注意すべき疾患
15	期末試験
16	解説授業
使用教材	柔道整復学・理論編(南江堂)